

# 琉球大学学術リポジトリ

## 知っておきたい着物の知識

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農家政学部 公開日: 2011-07-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 渡口, 文子, Toguchi. Fumiko メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/21250">http://hdl.handle.net/20.500.12000/21250</a>

# 知っておきたい着物の知識

## 3) お茶席

家元での初釜，口切りなど特に改まったお茶会は三つ紋か一つ紋付，訪問着でも紋のついていないものはいけないことになっていますが，普通のお茶会ならこま 綸子の色無地一つ紋付や訪問着，小紋なら上品な柄がよいでしょう。初釜，ホテルなどの茶会などは多少はなやかなものを，忌のお茶会はひかえめの無地調等でしょう。塩沢，結城，大島などは高価でも，あくまで街着でお茶会にはさけた方がよいのです。柄も縞，緋，格子などは普段着っぽい感じですのでさけるのが常識です。お召，紬は無地か無地調ならよいでしょう。5月中旬から6月は一越ちりめん，お召，紬の単衣，7～9月上旬は紵，紗などでどちらも訪問着か無地，小紋などを，単衣ですとお召，紵の無地で一つ紋がよいでしょう。お茶席での礼装は紋のついたきものがよいのです。お茶のおけいこをなさる方は訪問着始め小紋でも一つ紋をつけておいた方がよいでしょう。紋はどちらでもよいのです。小紋柄に紋をつけますと訪問着と同格に着ることが出来ます。

## Ⅵ 小物について

### 礼装用の小もの

#### a) 半 衿

羽二重，塩瀬で地紋のないものを使います。お年にかかわりなく白ですが礼装の場合は特に白さに気をつけていただきたいものです。

#### b) 帯 メ

留袖には白の丸ぐけ紐に金銀の箔や刺しゅう入

りのものが用いられますが，近ごろは金，銀又は白地に金，銀入りの打ひもを用いる人が多くなっております。おめでたい感じの色合いのものがよいでしょう。又きものと帯にかなりの重量感がありますので軽い感じの帯メで全体の雰囲気をごわしてしまうことがない様に注意しましょう。

#### c) 帯 揚 げ

留袖用の帯揚げは正式には白が使われています。上等のものでは総しぼりがあり普通には紋綸子のものです。同じ礼装でも格式ばった所の外にはお年に応じて目立たない淡い色のものを自由にお使いになってよいでしょう。

#### d) ハンドバック

正装には佐賀錦，綴れ織り，ビーズなどの小型で格調のあるものがよく，余分のものは入れずにその他のものは風呂敷などへまとめます。略装では小型で皮製のかかえ型を用意します。

#### e) 草 履

留袖には金銀をあしらったもので比較的かがとの高いものが用いられます。礼装のみに用いられるのに布製のありますが特にあらたまらなければならぬ場合以外はエナメル，パールの無地ものがよいでしょう。

着用時用途 図表 I

正装用	礼服 結婚式の参列 正式のパーティー
晴れ着	略礼装 卒業式 成人式 各種の会合
外出着	軽いパーティー 観劇 クラス会
街 着	ショッピング デート

(渡 口 文 子)